鎌倉の 温古堂
創業弘化四年
仏壇・仏具・御宮
神具・香・香炉
フーフでナムナム
☎〇四六七(22)七六七六

5月1日号
2025年(令和7年)
第554号
毎月1日発行
(一部税込み220円)
http://kamakura-asahi.com

朝 鎌倉朝日

朝日新聞の姉妹紙
©発行所 鎌倉朝日新聞社☎0467-24-8553 FAX 23-1205
〒248-0007 鎌倉市大町2丁目8番13号2-202

お宮参り・七五三の会食は
鎌倉 峰木
八幡宮前・小町通り・十二所神社前
本店 電話 0467-22-4431

鎌倉市がフェアトレードタウンに認定

ソーシャルプロダクツ・アワードでフェアトレード珈琲が大賞

3月4日付けで鎌倉市が国内7番目のフェアトレードタウンとして認定された。認定は日本で7番目。今月6日、鎌倉市議会議場で「鎌倉市フェアトレードタウン認定式典」がある。

一般社団法人日本フェアトレード・フォーラムが、鎌倉市のフェアトレードタウン認定を目指す市民等による推進組織「鎌倉エシカルラボ」が昨年10月に行った申請を受け、現地調査などを経て、認定した。市はこれを機に市民、企業と連携しながらフェアトレードを含むエシカル消費の普及啓発を積極的に行い、持続可能な社会の実現を目指す。

鎌倉エシカルラボは、2022年に発足した。フェアトレードコーヒー「鎌倉焙煎珈琲～フェアトレードかまくらブレンド」を国分首都圏株式会社（本社・東京都中央区）及び三本珈琲株式会社（本社・横浜市）と協働開発した。

この珈琲が3月7日に「ソーシャルプロダクツ・アワード2025」の自由テーマ「生活者が『持続可能な社会』づくりに参加できる商品・サービス」で最高位の大賞を受賞した。フェアトレード認証を受けた農園から調達したコーヒー豆を使用しており、売上の一部が鎌倉市緑地保全基金へ寄附されるなど、社会性の高い取組であることから、受賞したもの。

製品のパッケージとコーヒーのテイストを市内投票で決定したことも消費者の行動変容を促す工夫の一つとして評価された。

「ソーシャルプロダクツ・アワード2025」表彰式（鎌倉エシカルラボ提供）

大賞を受賞した鎌倉焙煎珈琲～フェアトレードかまくらブレンド
＝外包装は「稲村ヶ崎公園から見る未来に残したい海の夕景」
ドリップ個包装は「鎌倉の踏切から見える海」

鎌倉彫を徽章に

4月から市職員が着用

鎌倉市

鎌倉市では、4月から鎌倉彫の技術を用いて制作された徽章を導入し、職員へ貸与する取り組みを始めた。管理職以上の職員が着用している。

この徽章は、市民参加型工房・ファブラボ鎌倉（市内扇ガ谷）が徽章の丸型木地部分を作り「ササリンドウ」の下絵を刻印し、伝統鎌倉彫事業協同組合（市内由比ガ浜）の職人が一つひとつ手作業で彫刻と漆塗りを施す工程で制作されている。鎌倉彫を施し、それに漆の塗りを5層ぐらい重ねて仕上げるのに10日ほどかかる。4月に30個を納品、残り130個は秋までに全納される予定。

伝統鎌倉彫事業協同組合（三月一彦理事長）の鎌倉彫出荷額は1996年度に約17億2千万円だったが、23年度には約2億3千万円にまで減少。三月理事長は、「鎌倉彫の徽章はインパクトがあると思う。この機会に鎌倉彫が注目されるとうれしい」と話している。

鎌倉彫の徽章

三本珈琲の担当者は、「地域の魅力を発信したいという想いと、大量生産・大量消費・大量廃棄の社会経済からの転換、次世代へつなぐエシカルな企業と町ぐるみの取り組みが評価されたことをうれしく思う」と述べた。（2面ひと欄関連記事）

不登校の子通える学校

鎌倉市立由比ガ浜中学校開校

鎌倉市は、文部科学省が指定する「学びの多様化学校（不登校特例校）」、鎌倉市立由比ガ浜中学校の転入学式を4月15日行った。

多様化学校の開校は県内公立学校では2校目で、鎌倉市立御成中学校の分校として設置され、江ノ電由比ヶ浜駅付近に校舎が新設された。学区は市内全域で、1～3年の31人が入学した。

一般の中学校より授業時数を減らし、自分のペースで学べる柔軟な教育課程を編成。校長、分校長、教員9人、養護、カウンセラーら18人が対応していく。

「リーダー」という呼称がついた分校長の岩田明さんは「この学校をつくるのは皆さん。思い出つくって、仲間といっぱい話をして。自分らしく、無理しないで」と柔らかく生徒たちに呼びかけた。

4月に開校した由比ガ浜中学校

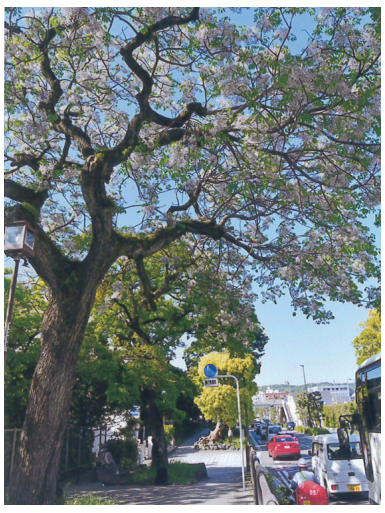
転入学式で挨拶する岩田分校長

鎌倉木樹めぐり ⑬

若宮大路のセンダン

風薫る5月。

毎年10日ごろには、若宮大路の海岸寄り、鎌倉体育館前のセンダンの大木が小さな淡紫色の花で覆われ、青空に霞をかけたようになる。若宮大路は、県道21号線横浜鎌倉線の一部で、滑川交差点から鶴岡は八幡宮に通じる延長約1・8㎞の参道。源頼朝が造ったといわれる。



センダンは、センダン科の落葉高木。葉が伸びきった後に葉脈から柄を伸ばし、径2㎝ほどの五弁花をつける。花の咲いているところを間近で見たいと思うが、残念ながらどこも見上げるばかりで落ちている花を見るのみ。

9～12月ごろ果実がクリーム色に熟し、枝先で鈴なりになり、遠目からも目立つ。その様子が数珠を連ねたように見えるため「千珠（ちだま）」と呼ばれセンダンとなったとする説、「千団子」になぞらえたとする説など。本覚寺や高徳院にも。

文　小林千穂
写真　松原省吾

鎌倉の年中行事 5月

▼**菖蒲祭**　5日13時、鶴岡八幡宮。無病息災など祈願。

▼**草鹿神事**　5日13時、鎌倉宮。古式の装束の射手が、鹿の形の的を射る。

▼**清正公大祭**　5日9時半、妙法寺。

▼**春のみどりと花のまつり**　4・5日10～15時、長久保公園。

▼**腰越漁協みなとまつり**　11日8時半、開催式。腰越漁協。

▼**慈善茶会**　17日8時半～16時、鎌倉大仏殿高徳院。

▼**徳崇大権現会・大般若経転読会**　22日13時、宝戒寺。北条一族の慰霊供養。

▼**第67回逗子海岸花火大会**　22日19時半。

▼**白旗神社例祭**　28日10時、鶴岡八幡宮境内の白旗神社。

プロムナード

先日、子どもたちのサッカーの試合で、久しぶりに江ノ電を利用しました▼晴れている土日ということもあって大変混雑していました▼低学年の子どもたちは押しつぶされかけながらも、「とにかくはぐれないように」と半泣き状態で必死でした▼バスの利用も乗車ができずに見送るしかない、など生活面に支障をもたらすレベルの混雑になっていると改めて感じています▼鎌倉の魅力を国際的に感じてもらえていることはとても喜ばしい反面、住民と観光客の関係性が難しい状況を迎えています▼オーバーツーリズムに対して、行政も対策を講じていることは承知していますが、安心と安全な生活を求めることは「贅沢な悩み」でしょうか。（N）

鎌倉石彫
梅花はんぺん
井上蒲鉾店
http://www.inouekamaboko.co.jp/

好評販売中
花咲く街 古都鎌倉
大森商店
KAMAKURA ZAIMOKUZA
since 1951
☎0467-22-2626
http://www.e-omori.com/